

病児・病後児保育事業の潜在ニーズについて

～富山市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査から～

調査の概要 平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」が実施されましたが、その実施にあたって富山市子ども・子育て支援事業計画を策定することとし、そのための課題等を整理するためのアンケート調査を実施、平成26年3月に富山市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書を作成しました

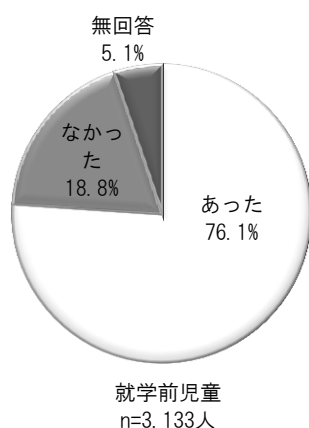
調査対象者 就学時前児童を持つ保護者 7,500件

回答の概要 病児・病後児保育事業に関する設問に回答があったものは3,133件

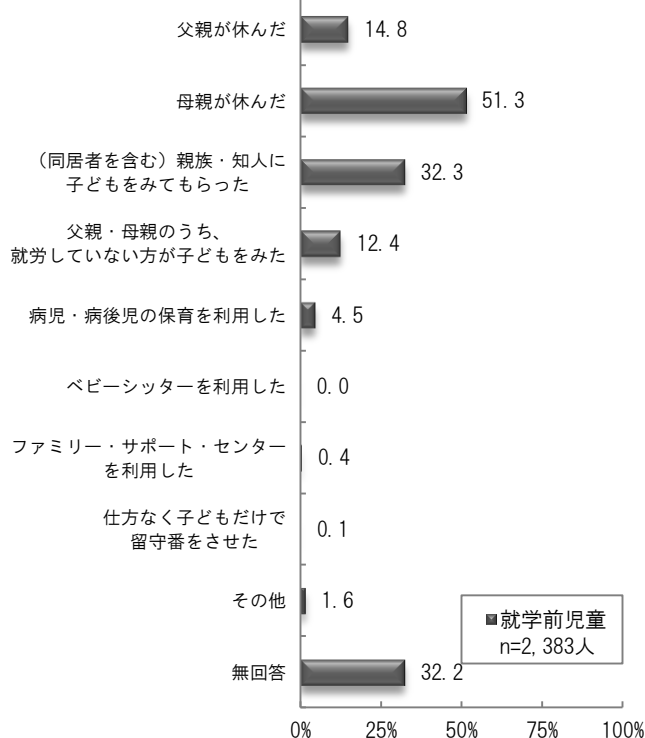
1. 未就学児が病気等の際の対応

保護者の76.1%の方は、病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかつたと回答しています。その際の対処方法は、「母親が休んだ」(51.3%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(32.3%)、「父親が休んだ」(14.8%)の順となっています。

病気やケガで、保育所等が
利用できなかつたことの有無



最近の対処方法

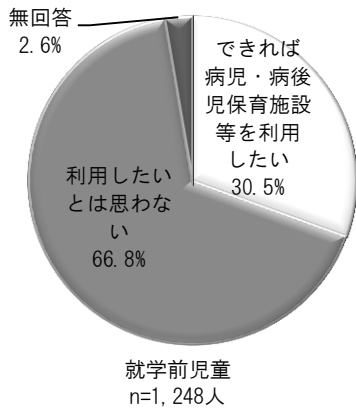


2. 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設利用意向

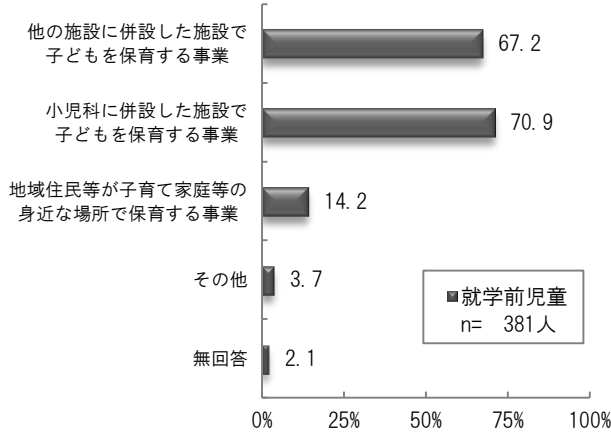
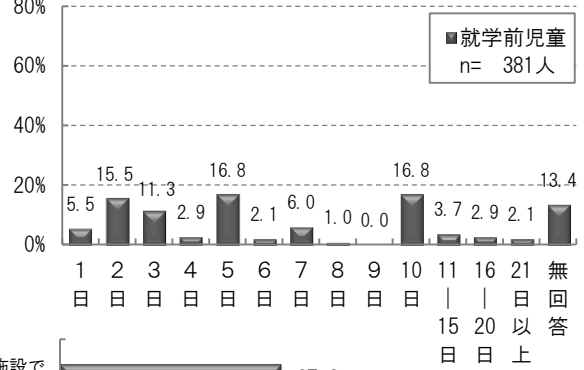
施設利用希望

父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用については、30.5%の方がその利用を希望し、その利用日数は「5日」、「10日」(各16.8%)、「2日」(15.5%)の順になっています。

また、子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(70.9%)、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(67.2%)の順になっています。

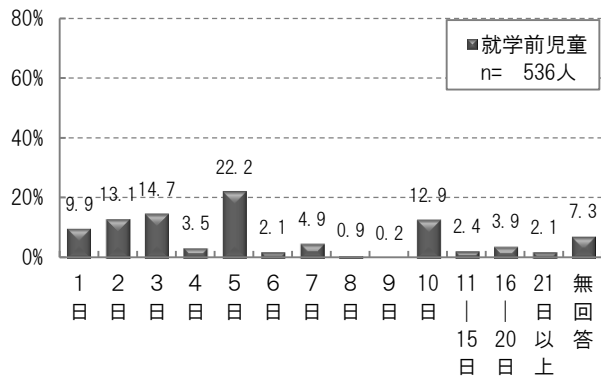
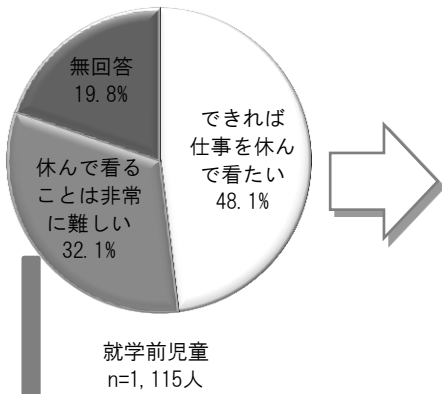


子どもを預ける場合の望ましい希望日数(年間)と事業形態



3. 父親・母親が休む以外の対処方法

父親・母親が休む以外の対処方法を選んだ方に対して「父母が休んで看たい」という意向は、48.1%の方が「できれば仕事を休んで看たい」と回答しています。一方、「仕事を休んで看ることは非常に難しい」の理由は、「子どもの看護を理由に休みが取れない」(48.6%)、「休假日数が足りないので休めない」(16.5%)などとなっています。



「仕事を休んで看ることは非常に難しい」の理由

